

# 新事業育成資金融資事例（平成 29 年 2 月 立川支店）

## アーティサン株式会社に「新事業育成資金」を適用

～新事業として自社製品の開発に取り組む調布市の業者を支援～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）の立川支店中小企業事業は、アーティサン株式会社（本社：東京都調布市、社長：小山才喜）に対して、特別融資制度「新事業育成資金」を適用し、平成 29 年 2 月に、運転資金 10 百万円の融資を実施しました。

「新事業育成資金」は、高い成長性が見込まれる新事業に取り組む中小企業を支援するため、平成 12 年 2 月から現行制度の取り扱いを開始した特別貸付制度です。

アーティサン株式会社は、法人向けに自社製品の提供や、マイクロソフト製品を使ったシステムの提案支援のコンサルティングなどを行っている業者です。新規事業として、自社で開発したバス到着予測サービス『バス予報<sup>®</sup>』の普及促進に向け、地方バス事業者で実証実験を行っています。今後の販売拡大が期待されており、このたびの融資は、本新事業の拡大に必要な運転資金を供給するものです。

### <融資先の概要>

企業名	アーティサン株式会社	代表者	小山 才喜
住所	東京都調布市多摩川 5 - 1 3 - 3 サニーコート 1 F	業種	受託開発ソフトウェア業
<b>新事業計画の概要</b>			
計画名：「バス到着予測サービス『バス予報 <sup>®</sup> 』」			
本計画は、位置情報と IoT、クラウド上のシステム開発を融合した、バス運行状況システム『バス予報 <sup>®</sup> 』の普及を目指すものである。全国的には乗合バス利用者数は横ばいで推移しているが、地方では、高齢者を中心に運転免許保有者数の減少や鉄道網が発達していないこと等から、乗合バスのニーズが高まっていくことが予想される。『バス予報 <sup>®</sup> 』は、バス利用者が感じている、バス利用に関する様々な課題（時刻表通りにバスが来ない、バス停の場所がわからない等）の解決を図るものであるとともに、バス利用者の減少という課題に直面している地方バス事業者においても、利用者のサービス向上により、バス利用者の増加を図ることが可能となることから、バス利用者及びバス事業者双方にメリットがあるサービスである。			
当社のバス運行状況システムは、同様の従来型システムと比べて、導入コストが低いこと、拡張性があること等により差別化を図っている。現在の機能は、最寄りのバス停検索、バス停ごとの待ち時間の表示、時刻表機能等があるが、今後は、バス停周辺の飲食店情報等の広告導入等も視野に入れ開発を進めている。			
「アーティサン株式会社」へのお問い合わせ TEL 042-444-4815（特殊開発部 バス予報開発班 担当：山本、松尾）			